

2023年度学校自己評価シート(本庄第一高等学校)

<p>目指す学校像 (ミッション)</p>	<p>学園理念「賢生」 ・影響を受け、影響を与え、柔軟さと豊かさを育む。 ・本校の生徒と教師・職員は目標達成のため、お互いに響きあい、前進し、活力ある学園を築きます。 教育方針 ・本校の生徒・教職員は共に学ぶ心をもち、学力・技術の向上に努める。 ・本校の生徒・教職員は共に豊かな人間関係を築くため、礼節を重んずる。</p>
<p>本年度重点目標</p>	<p>1 各類型コースの充実 2 学力の向上 魅力ある授業づくり 3 秩序ある学校の雰囲気づくり 4 開かれた学校づくり(学校開放・地域への貢献) 5 生徒募集・広報活動の充実(説明会・体験入学の充実) 入学者増</p>

※番号欄は本年度重点目標の番号と対応させている。

		学校自己評価				
		年度目標	具体的方策	方策の評価指標	年度評価(2024年3月31日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	評価項目の達成状況			
			達成度	達成理由	改善策	
1・2	<p>OS類型 難関大学の入試に対応できる学力の定着。 縦割りの連携を意識した各学年での取り組みと学力向上。</p> <p>OA I 類型・文 I 型・理 I 型 学習意欲を高め、基礎学力の向上と希望する進路の実現。 推薦受験だけでなく一般受験にも対応できる生徒の増加。</p> <p>OA II 類型・文 II 型 定期試験の成績だけにとどまるのではなく、知識の蓄積を 目標とした学習習慣の確立。 推薦を希望する生徒の基礎学力の担保。</p>	<p>学力の向上・進路実現への取組</p> <p>○学力が担保される推薦基準の研究と見直しを行う。 ○OS類型については、教員からのアプローチだけでなく、上級生が指導・アドバイスできる学習スタイルをつくる。 ○OS類型の放課後の補習、個別指導、休日補習、長期休業中の補習の充実を図る。 ○「スタディ・サプリ」等を有効活用し、学力向上に効果的な様々な学習の導入方法を図る。 ○GTECやTEAP、英検、漢検などの資格取得に努め、総合型選抜入試や推薦入試への対策を行う。 ○文 I、理 I は平日の希望者補習、長期休業中の補習を実施する。 ○公務員希望者に対する模試の実施。 ○総合型選抜入試、推薦入試に対応する講座や小論文などの模擬試験の実施。 ○国立大学の総合型選抜入試や公募推薦なども含めた大学入試問題の研究。 ○部活など得意分野での進路指導の強化。 ○教員の指導力や知識の向上のための研修会の充実および大学入試問題の研究。 ○キャリアガイダンス等の行事を充実させて、生徒が早期に進路目標を定め準備が始められるよう計画する。</p>	<p>○国立大学の合格者を6名(2022年実績)以上出せたか。 ○OGMARCHの合格者を15名以上、日東駒専の合格者を30名以上出せたか。 ○総合型選抜入試、推薦入試合格率が向上したか。 ○OS類型選抜入試や推薦入試への対策を行ったか。 ○文 I、理 I は平日の希望者補習、長期休業中の補習を実施する。 ○公務員希望者に対する模試の実施。 ○総合型選抜入試、推薦入試に対応する講座や小論文などの模擬試験の実施。 ○国立大学の総合型選抜入試や公募推薦なども含めた大学入試問題の研究。 ○部活など得意分野での進路指導の強化。 ○教員の指導力や知識の向上のための研修会の充実および大学入試問題の研究。 ○キャリアガイダンス等の行事を充実させて、生徒が早期に進路目標を定め準備が始められるよう計画する。</p>	<p>○頭髪・服装の乱れにより指導を受ける生徒が減少したか。 ○安全にインターネットを利用し、マナーやモラルを守ることができたか。 ○朝の校門指導を実施するか。 ○警察官による防犯講話を実施するか。 ○情報セキュリティ講座を実施するか。 ○厳しさと丁寧さを兼ね備えた生徒指導に努めるか。 ○いじめ基本方針に基づき全教員で取り組むか。 ○訓話や通信文を通じ、交通マナーの意識向上を図るか。 ○本校の生徒指導方針について保護者に理解していただくか。 ○生徒相談や体前問題に関する教員の研修の充実か。 ○生徒相談や体前問題に関して、教員の意識が高まり成果が上がったか。</p>	<p>○今年度いじめの事象は起きなかった。アンケートによって生徒の悩みを早い段階で把握することで、いじめに発展する前に生徒指導できたか。 ○スマホを利用した画像の拡散やSNSトラブルが増加したが、各学年で集会を開いたり、情報セキュリティ講座を開き、画像の拡散やSNSトラブルについて生徒に注意喚起を行ったか。 ○生徒相談(スクールカウンセラー)と連携し、内面的な部分で問題を抱える生徒の対応を学校全体で情報共有して生徒指導することができたか。 ○警察と連携し、自転車安全運転のヘルメットの着用の推進、動画作成を行い、交通事故減少に務めたか。</p>	<p>○総合型選抜・学校推薦型選抜の合格者をそれぞれ高める必要がある。改善策として「探究活動の充実」と、教員の指導スキル向上・負担軽減を企画し、「動画コンテンツの活用」を進めていく。 ○早期からの進路の意識付けを仕掛ける必要がある。改善策として「探究活動」を通じ、1年生から自分の将来を見つめさせる。2年次には「分野・校種比較」を、3年次4月には「校名比較」にまで踏み込んで指導する。 ○新課程入試への研究と対応が必要である。「情報」が主要科目化された。他の科目でも主体的・対話的な学びを意識した作問がなされると予想する。特に共通テストの新課程元年は、文科省の指針を忠実に守る傾向が強いと思われる。指導者自ら各種研修会や説明会に参加し、変化に対応できるように環境を整えたい。</p>
	<p>近年の生徒指導は、不良行為で指導する件数よりも、内面的な部分で問題を抱える生徒や、スマホの扱いによる問題が多い。また、県立高校では自動二輪車の免許取得が可能になったことや、成年年齢が18歳に引き下げられたことなどもあり、今まで当たり前だった学校での生徒指導が、社会からは当たり前ではなくなっている。これからの生徒指導は、柔軟に、かつ丁寧な指導が必要である。また、校則を変更して1年目であるため、教員間で指導に差が出ないよう注意する必要がある。</p> <p>○未然防止のための生徒指導 ○社会情勢に合わせた生徒指導 ○生徒相談(スクールカウンセラー)と連携した生徒指導 ○いじめ問題の防止と発生時の早期解決 ○交通事故減少</p>	<p>生活指導</p> <p>○生徒の小さな変化を見逃さないよう、生徒とのコミュニケーションを大切にし、教員間の連絡を密にする。 ○朝の校門指導を実施するか。 ○警察官による防犯講話を実施するか。 ○情報セキュリティ講座を実施するか。 ○厳しさと丁寧さを兼ね備えた生徒指導に努めるか。 ○いじめ基本方針に基づき全教員で取り組むか。 ○訓話や通信文を通じ、交通マナーの意識向上を図るか。 ○本校の生徒指導方針について保護者に理解していただくか。 ○生徒相談や体前問題に関する教員の研修の充実か。 ○生徒相談や体前問題に関して、教員の意識が高まり成果が上がったか。</p>	<p>○頭髪・服装の乱れにより指導を受ける生徒が減少したか。 ○安全にインターネットを利用し、マナーやモラルを守ることができたか。 ○朝の校門指導を実施するか。 ○警察官による防犯講話を実施するか。 ○情報セキュリティ講座を実施するか。 ○厳しさと丁寧さを兼ね備えた生徒指導に努めるか。 ○いじめ基本方針に基づき全教員で取り組むか。 ○訓話や通信文を通じ、交通マナーの意識向上を図るか。 ○本校の生徒指導方針について保護者に理解していただくか。 ○生徒相談や体前問題に関する教員の研修の充実か。 ○生徒相談や体前問題に関して、教員の意識が高まり成果が上がったか。</p>	<p>○今年度いじめの事象は起きなかった。アンケートによって生徒の悩みを早い段階で把握することで、いじめに発展する前に生徒指導できたか。 ○スマホを利用した画像の拡散やSNSトラブルが増加したが、各学年で集会を開いたり、情報セキュリティ講座を開き、画像の拡散やSNSトラブルについて生徒に注意喚起を行ったか。 ○生徒相談(スクールカウンセラー)と連携し、内面的な部分で問題を抱える生徒の対応を学校全体で情報共有して生徒指導することができたか。 ○警察と連携し、自転車安全運転のヘルメットの着用の推進、動画作成を行い、交通事故減少に務めたか。</p>	<p>○SNSによる問題行動や生徒間のトラブルが増加し、個人のプライバシーを守りながら、生徒指導を行うため、難しい生徒指導が多かった。今後は全国の指導事例などを研究し、更に適正な生徒指導に努める。 ○動画の拡散などの問題が増え、教員の目に届かない所でトラブルが大きくなっており、学校だけで問題を解決することが難しくなっている。関係各所との協力関係を今まで以上に築いていく。 ○校内での携帯・スマートフォン等の利用規則を作り、生徒への注意喚起およびトラブルの問題解決をスムーズに行う。</p>	
3	<p>○全体的な学力の向上。 ○学習意欲の低い生徒への対応。 ○学習の到達目標や進路目標が明確になっていない生徒への対応。 ○家庭学習が疎かになっている生徒への対応。 ○タブレットやプロジェクターなどのICTを活用した指導の推進。 ○キャリア教育の目標を意識した各教科での指導の推進。 ○教員自身の指導力向上の課題。 ○新学習指導要領に沿った授業運営と評価の周知。</p>	<p>授業改善の取組(生徒の自主的取り組みを促す)</p> <p>○授業・課題等でタブレットを活用し、動画や資料を日常的に配信するか。 ○ICTを駆使し同時双方向型の個別指導を計画していくか。 ○外部団体主催の各種のスクリーン講座等へ積極的に参加し、先進的授業を研究し効率的・効果的な教科指導を実施するか。 ○授業アンケート等の生徒の意見をふまへ、授業の進め方を改善していくか。 ○ICT活用・アクティブラーニングをテーマにした公開授業を行っていくか。 ○キャリア教育の実践を意識した教科指導を研究していくか。 ○新指導要領に則った具体化策としての「新教育システム」の実践を促していくか。</p>	<p>○生徒の授業に対する意識が高まり、自主的な取り組みができるようになったか。 ○生徒の学力が向上し、定期テストや模擬試験等の結果に反映できたか。 ○家庭学習の重要性が理解され、進路実現のための意識が向上したか。 ○公開授業の経験が教科指導に活かされたか。 ○各学年段階の生徒に適切なキャリア教育が実践できたか。 ○多くの教員が授業や個別指導においてICTが活用できたか。 ○スクリーン講座等で習得した技術が授業で活かされたか。 ○授業アンケートの結果が向上し、満足度が上がったか。 ○新学習指導要領に沿った授業運営と評価ができたか。</p>	<p>○日々の単語テストを実施し、全校一斉の単語テストを3回実施したが、ほとんどのクラスがクラス平均を上昇させ、学力向上につながったか。 ○11名の教員が公開授業を実施し、他教科からの評価を参考に教科内で研究が行えたか。 ○授業での課題や志望理由書、小論文の添削などICTを利用した指導が効果良く行われたか。 ○08名の教員が有料の教員研修に参加、また無料で行われている予備校等の研修会にも10名以上が参加したか。 ○授業アンケートの結果については、昨年とほぼ変動がみられていないが、4.0以上の平均値が多く生徒満足にはつながっていたか。</p>	<p>○教員の授業力向上を目的とした公開授業の内容・質の向上を目指しているか。 ○指導力向上に向けた研修会への参加人数を増やすか。 ○日々の学習習慣の定着に向け、毎日の単語テスト、放課後の希望制補習を充実させていくか。 ○ICTの利用した生徒の学習支援と進路目標達成に向けた取り組みを継続していくか。 ○授業アンケートの結果を研究し、より満足度の高い授業を実施するか。</p>	
4	<p>○地域保護者および中学生に対して本校生徒の活動、成果、教育実践に関する情報提供の推進。 ○地域の要請によるイベントへの参加、施設の貸し出し対応。 ○学校自己評価シートの公開による開かれた学校づくりの具体的な取組の推進。 ○スクールライフアンケートの結果による生徒会との連携。 ○学校見学会の内容の充実。 ○様々な分野における地域との連携。</p>	<p>開かれた学校づくり</p> <p>○地元社会体育団体への施設開放。 ○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加。 ○スクールライフアンケートの実施。 ○学校の取り組みに対する保護者への理解を促し、要望等を取り入れていく。 ○紙媒体とデジタルデータを利用し、より多くの人々に情報を公開するか。</p>	<p>○地域社会との交流の機会が増えたか。 ○学校の認知度は上がったか。 ○学校行事や学校主催のイベントに多くの受験生、保護者が参加したか。 ○学校に対する保護者の関心が高まったか。 ○紙媒体で配布している情報と合わせデジタルデータを有効利用できたか。</p>	<p>○地元体操クラブや剣道クラブ、サッカークラブ、野球クラブなどに施設を開放し、地域社会との継続的な交流の機会を持つことができたか。 ○今年度は全イベントが通常開催となり、大勢の保護者・中学生が参加を希望する傾向が見られた。しかし、文化祭は、他校と実施日が重なり昨年度よりも集客が少なかったか。 ○PTA主催の保護者対象進路説明会、学校見学会、部活動の見学、文化祭、体育祭の参加など、昨年度より保護者が来校する機会が増えた。また、学校に対するアンケートの実施により、保護者からの積極的意見が増加し、関心度は高くなったか。 ○宣伝媒体として紙及びデジタルデータを用意し、HPを通して宣伝することができた。さらに、Instagram、TikTokなども宣伝に活用し、広報活動は活発になったか。 ○部活動、学校の特色について生徒と教師が共に広報活動に取り組み、動画の作成、写真掲載など積極的に取り組むことができた。その結果多くの反響があり、本校に興味関心をもつ機会となったか。</p>	<p>○地元社会体育団体への施設開放をさらに進めていく。 ○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加を促していく。 ○スクールライフアンケートを実施するか。 ○学校の取り組みに対する保護者への理解を促し、要望等を取り入れていく。 ○PTA主催の保護者対象進路説明会、学校見学会があることで子供の様子を見ることができ良いと思う。 ○校内の設備を整えることにより施設開放が進み、生徒募集に繋がる事を期待している。 ○コロナ禍、委員会を撤廃したが学校の取り組みへの理解、保護者の知る場が減ったように感じた。保護者が参加する行事や定期的なアンケート等を実施し、学校とPTAとの連携を高めてほしい。 ○生徒と教員が一丸となって情報を発信できる広報活動の活性化を進めていく。 ○充実した学校行事になるよう時期、内容の検討をしていく。</p>	
5	<p>○学校の取組みや生徒の諸活動を保護者、地域に対して積極的な情報提供。 ○体験入学、個別相談会等参加者増加へ向けた生徒募集行事強化。 ○入学者増加に向けた取り組み。 ○情報機器を有効利用した効果的な情報提供。</p>	<p>生徒募集・広報活動</p> <p>○年間3回「本庄第一通信」の発行。 ○年2回の中学校訪問や塾への訪問を実施。 ○体験入学会、体験入部会の実施。 ○学校内外での本校独自の説明会の実施や平日の学校見学会希望者への案内を行い、実際の学校の取り組みの様子や取組みなど紹介する。 ○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加。 ○HPの質の向上を図るとともに適宜更新し、情報を発信する。 ○部活動などははじめとした生徒の様子様々なアプリなどを利用し、幅広く情報を発信する。 ○みらいコンパスシステムを利用している情報配信を実施するか。 ○生徒募集行事を通じて個別相談会参加の増加を図り、さらに相手求める情報を提供できるよう努める。</p>	<p>○計画通りに「本庄第一通信」が発行できたか。 ○HPの情報更新され閲覧者が増えたか。 ○体験入学会、体験入部会の実施。 ○学校内外での本校独自の説明会の実施や平日の学校見学会希望者への案内を行い、実際の学校の取り組みの様子や取組みなど紹介する。 ○みらいコンパスシステムを使用して受験生に情報配信できたか。 ○学校行事を通じて個別相談会の参加者を増やすことができたか。 ○LINEやInstagram等のSNSを利用して情報提供に務めることができたか。</p>	<p>○本庄第一通信は現在同様に紙媒体で配布するが、デジタルデータとしても閲覧できるよう準備し、さらに楽しめる情報を盛り込み、HPに掲載していくか。 ○HPの情報が増えるよう工夫し、日々の作成更新を図るか。 ○HP新着情報(学校行事や部活動結果など)を頻度高く更新できるように努めた。閲覧数は、中高併せて昨年比84.9%と多かったか。 ○オープンスクールを含めたイベント参加者数は、昨年比83.9%にとどまり、入学予定者数も募集定員に届かせることができなかったか。 ○受験生には、ミライコンパスシステムを使用した入試情報をメールで配信することができたか。 ○SNSを利用し各部活動の様子を配信したが、学校行事などの発信頻度は低くなったか。</p>	<p>○本庄第一通信は現在同様に紙媒体で配布するが、デジタルデータとしても閲覧できるよう準備し、さらに楽しめる情報を盛り込み、HPに掲載していくか。 ○HPの情報が増えるよう工夫し、日々の作成更新を図るか。 ○OS類型説明会を通して卒業への取り組み方法を伝えたり、高校全体の説明会内容を充実させ、生徒が明るく元気に楽しくと思える学園生活を積極的に発信するか。 ○BLENDやSNSを活用して募集イベントを告知し、参加予約の増加を図るか。また、出願に間に合うよう、よりわかりやすい入り口にするなど、出願時の間違い減少を目指す。 ○生徒募集活動全体の抜本的な見直しを行う。</p>	

※学校関係者評価とは、最終回の学校評価懇話会を開催、また個々に意見を頂き、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

		出席者(聴取者)	
学校関係者(法人 監事・評議員)	2	名	
生徒	1	名	
事務局	1	名	

学校関係者評価	
実施日2024年5月末日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>○希望していた大学に入学できたのは概ねよかったと思うが、合格率が下がったことが気になる。原因をしっかりと把握していただき、来年度は合格率をしっかりと底上げして欲しい。</p> <p>○国立大学合格者が既卒者を含めて7人、目標ほぼ達成。日東駒専の合格者が目標に達成できなかった為、次年度に期待したい。</p> <p>○総合推薦型・学校推薦型の合格率低下、また学校推薦選抜指定校にて不合格者が出てしまうという厳しい状態。小論文・面接のスキルが足りないのととも、学校生活においても人間形成の部分から見直す必要があると思う。</p> <p>○進路を考えるにあたって、進捗校への学校訪問や体験授業、説明会などの実施が進捗状況に大いに役立っていた。</p> <p>○自習室や空き教室などを利用して、放課後も自学自習に取り組む生徒が多く見られた。</p> <p>○部活・勉強どちらに力を入れたのか学校としての方向性がわからない。コースの整理、学校として統一感が欲しい。</p> <p>○全体的には、多くの生徒が希望する進路へ進んでいるように感じる。大学進学を目的とする生徒の多くは早い段階から推薦入試を意識した取り組みに集中している。推薦入試にとらわれず、一般受験にも挑戦できるような類型ごとの取り組みの強化に期待している。</p> <p>○職業選択の幅が広がるような様々な専門分野の学習についても引き続き行ってほしい。</p>	<p>○いじめ対策としてアンケート等を利用し、事前に対策できたことは高く評価できる。 ○スマホ・SNSトラブルが非常に多いと感じた。今後さらに増えると考えられる。情報セキュリティ講座・注意喚起をこまめに行い、生徒がスマホ・SNSの付き合い方を学ぶ場を増やしてほしい。 ○生徒相談と連携し、学校全体で情報共有し生徒と向き合っているのは継続して行ってほしい。 ○SNSに限らず様々なトラブルを未然に防ぐために社会情勢に合わせた注意喚起をPTAと連携して行ってほしい。 ○学校でのスマホ使用の制限も視野に入れる必要があるのではないかと。 ○いじめの事象が起きていなくても生徒間では些細な問題からいじめに発展していくケースも少なからずあると思うので細部にまで気を使っ欲しい。スマホでの画像等の流出も大変危険なので指導の徹底をお願いしたい。 ○授業の大半がタブレットを活用しているため、資料の提示などをスムーズに行うことができていた。しかし、タブレットやスマホで授業とは関係ないことをしている人も見られたのが残念であった。</p>
<p>○毎日の積み重ねが勉強においては重要だと考えられる。毎日少しずつ勉強をする習慣をつけるための単語テストはよい取り組みだと感じる。単語テストに限らず、各教科での工夫を期待したい。</p> <p>○公開授業・研修会への参加など、先生方の意識の高さを感じる。生徒たちどのように還元していくかが、今後の課題であると感じる。</p> <p>○ICTを利用した指導は今の世の中に対応しているために重要だと考えられる。積極的に活用していく一方で、デメリットの書かぬ・考える力等をどう補っていくのかを考えていく必要があるのではないかと。</p> <p>○教科ごと授業内の様々な取り組みによって生徒の学習意欲への高まりがみられる。特に定期テストへの取り組みの意識は高も感じる。模試の試験結果についても意識できるように類型ごとのフォローアップに期待したい。</p> <p>○授業への姿勢や取り組みがよくなってきているのは素晴らしいことだと思う。教員の授業力を向上し、さらに本庄第一の成績が上がっていくことを期待している。</p> <p>○多くの部活動でSNSを活用したイベントの情報発信活動がされていたため、地域の方や保護者および中学生に接する機会を増やせた。また、ボランティア活動に積極的に参加する生徒もいたため、継続して欲しい。</p>	<p>○HPによる新着情報更新はとても良いと思う。部活動の結果・練習の様子、学校生活の様子などを見て学校を選択すると思うので、更新頻度を上げて情報公開をしていきたい。閲覧数の低下をSNSなどを活用して、多くの人に見ていただけるような工夫が必要。 ○本庄第一通信等、紙媒体のみだったものはデータでも閲覧できるようにして、より見やすくしてほしい。 ○本校の卒業生や保護者などにも情報が行き届くため、本校との繋がりを維持できるようにしたいと思う。 ○生徒募集に繋がるような行事やSNSで配信されている学校行事や部活動の活動報告は頻繁に更新されていて充実している。在校生・卒業生への満足度が口コミとなり生徒募集に繋がる大きな要因であると考えられる。今後も様々な取り組みに期待したい。 ○中学生や小学生に魅力を伝えるためには、他の学校にはできない特色を打ち出すことが大切だと思う。部活動を増やしたり、1人・2人くらいでも日本一になるような部活等、生徒数が増えることを期待したい。</p>

2024年度学校自己評価シート(本庄第一高等学校)

目指す学校像 (ミッション)	学園理念「響生」 ・影響を受け、影響を与え、柔軟さと豊かさを育む。 ・本校の生徒と教師・職員は目標達成のため、お互いに響きあい、前進し、活力ある学園を築きます。 教育方針 ・本校の生徒・教職員は共に学ぶ心をもち、学力・技術の向上に努める。 ・本校の生徒・教職員は共に豊かな人間関係を築くため、礼節を重んずる。
本年度重点目標	1 各類型コースの充実 2 学力の向上 魅力ある授業づくり 3 秩序ある学校の雰囲気づくり 4 開かれた学校づくり(学校開放・地域への貢献) 5 生徒募集・広報活動の充実(説明会・体験入学の充実) 入学者増

※学校関係者評価とは、最終回の学校評価懇話会を開催、また個々に意見を頂き、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者(聴取者)	
学校関係者(法人 監事・評議員)	名
生徒	名
事務局	名

※番号欄は本年度重点目標の番号と対応させている。

		学校自己評価			年度評価(2024年3月31日現在)		学校関係者評価	
		年度目標			評価項目の達成状況		次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成率		実施日2024年5月末日	学校関係者からの意見・要望・評価
1・2	○S類型・英語外部検定上位級合格者を増やす。 難関大学の入試に対応できる学力の定着。 縦割りの連携を意識した各学年での取り組みと学力向上。 ○AⅠ類型・文Ⅰ型・理Ⅰ型 英語外部検定資格取得者を増やす。 学習意欲・基礎学力向上と進路の実現。 年内入試だけでなく、一般入試にも対応できる生徒を増やす。 ○AⅡ類型・文Ⅱ型 英語外部検定受検者を増やす。 定期試験の成績だけでなく、知識の蓄積を目標とした学習習慣の確立。 推薦を希望する生徒の基礎学力の担保。	英語外部検定取得に向けた全校的な取組み	○英語外部検定取得・受験状況の可視化。 ○S類型は放課後補習・個別指導・長期休業中補習の更なる充実。 ○「スタディ・サプリ」等を有効活用し、学力向上に効果的な様々な学習法の提供。 ○自主性を育み、主体的学びまで届かせる具体的な指導。 ○文Ⅰ・理Ⅰは平日2回の希望者補習、長期休業中補習の実施。 ○就職希望者向け公務員試験対策講座・講演会の実施。 ○総合型選抜入試・推薦入試対応型講座や小論文模擬試験等の実施。 ○国立公立大学の総合型選抜入試や公募推薦なども含めた大学入試問題の研究。 ○部活動など、得意分野を活かした進路指導の強化。 ○教員の指導力や知識の向上のための研修会の充実および大学入試問題の研究。 ○キャリアガイダンス等の行事を充実させ、生徒が早期に進路目標設定・研究・準備が始められるよう計画する。	○国立公立大学の合格者を6名(2022年実績)以上出せたか。 ○OGMARCHの合格者を15名以上、日東駒専の合格者を30名以上出せたか。 ○総合型選抜・学校推薦型選抜での合格率が向上したか。 ○連携校への受験者数・合格者数ともに20名以上出せたか。 ○担任を主とした小論文・面接指導の展開が図れたか。 が展開されたか。				
3	生徒指導に求められる役割は時代によって変化してきており、生徒の抱える問題やニーズが多様化し、複雑さと困難さは年々増してきている。近年の生徒指導は内面的な部分で問題を抱える生徒や生徒間で起るSNSによる問題が多い。友人関係の構築も未熟で、他人との関係性を築いていく力が弱いため、いじめや不登校などに発展することもある。また、SNSの発展に伴い、学校生活の中で自分と異なる価値観の人との関係を築いていく体験の乏しさが、問題の一因となっていると考えられる。人間関係づくりにおける課題は、これからの生徒指導は、重要な問題事項になっているため、丁寧な指導が必要である。また、校則を変更して2年目であるため、校則の見直しや教員間で指導に差が出ないよう注意する必要がある。  ○未然防止のための生徒指導 ○社会情勢に合わせた生徒指導 ○生徒相談(スクールカウンセラー)と連携した生徒指導 ○いじめ問題の防止と発生時の早期解決 ○交通事故減少	生活指導	○生徒の小さな変化を見逃さないよう、生徒とのコミュニケーションを大切にし、教員間の連絡を密にする。 ○朝の校門指導、生徒指導係による朝指導を実施する。 ○警察官による防犯講話を実施する。 ○情報セキュリティ講座を実施する。 ○厳しさと丁寧さを兼ね備えた生徒指導に努める。 ○教員間で温度差のない、生徒指導に努める。 ○いじめ基本方針に基づき全教員で取組む。 ○訓話や通信文を通じ、交通マナーの意識向上を図る。 ○本校の生徒指導方針について保護者に理解していただく。 ○生徒相談や体罰問題に関する教員の研修の充実。	○頭髪・服装の乱れにより、指導を受ける生徒が減少したか。 ○安全にインターネットやSNSを利用し、マナーやモラルを守ることができたか。 ○問題行動、インターネットおよびSNSトラブルなど未然に防ぐことができたか。 ○生徒相談(スクールカウンセラー)と連携し、生徒のサポートが図れたか。 ○いじめ基本方針に基づいた防止策が図れたか。早期発見、早期解決が図れたか。 ○公共の場でのマナーは守れたか。 ○自転車安全運転の意識が向上し、交通事故が減少したか。 ○生徒指導における保護者との連携が図れたか。 ○生徒相談や体罰問題に関して、教員の意識が高まり成果が上がったか。 ○先生間で共通意識を持ち、温度差のない生徒指導ができたか。				
2	○英語力向上を強く意識した指導。 ○学習意欲の低い生徒への対応。 ○「探究の時間」を充実させる。 ○家庭学習が疎かになっている生徒への対応。 ○ICTを活用した教科指導の推進。 ○キャリア教育の目標を意識した取組み。 ○教員自身の指導力向上にむけた、各種研修の参加。	授業改善の取組(生徒の主体的な取組みを促す)	○授業・課題等でタブレット端末の活用、主として動画や資料の日常的な配信。 ○ICTを駆使した、同時双方向型指導の計画。 ○外部団体主催の各種のスキルアップ講座等へ積極的参加。 ○授業力向上に資する、授業アンケート実施と活用。 ○ICT活用・アクティブラーニングをテーマにした授業の公開。 ○キャリア教育を意識した教科指導の研究。 ○新指導要領に則った具体化策としての「新教育システム」の実践。	○生徒の授業に対する意識が高まり、自主的な取り組みができるようになったか。 ○生徒の学力が向上し、定期テストや模擬試験等の結果に反映できたか。 ○家庭学習の重要性が理解され、進路実現のための意識が向上したか。 ○公開授業の経験が教科指導に活かされたか。 ○各学年段階の生徒に適したキャリア教育が実践できたか。 ○多くの教員が授業や個別指導においてICTが活用できたか。 ○スキルアップ講座等で習得した技術が授業で活かされたか。 ○授業アンケートの結果が向上し、満足度が上がったか。 ○新学習指導要領に沿った授業運営と評価ができたか。				
4	○地域保護者および小中学生に対して本校生徒の活動、成果、教育実践に関する情報提供の推進。 ○地域の要請によるイベントへの参加、施設の貸し出し対応。 ○学校自己評価シートの公開による開かれた学校づくりの具体的な取組みの推進。 ○スクールライフアンケートの結果による生徒会との連携。 ○学校見学会の内容の充実。 ○様々な分野における地域との連携。 ○PTA活動の充実。	開かれた学校づくり	○地元社会体育団体への施設開放。 ○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加。 ○スクールライフアンケートの実施。 ○学校の取り組みに対する保護者への理解を促し、要望等を取り入れていく。 ○紙媒体とデジタルデータを利用し、より多くの人々に情報を公開する。 ○PTA主催のイベントや研修会の開催の実施。	○地域社会との交流の機会が増えたか。 ○学校の認知度は上がったか。 ○学校行事や学校主催のイベントに多くの受験生、保護者が参加したか。 ○学校に対する保護者の関心が高まったか。 ○紙媒体で配布している情報と合わせデジタルデータを有効利用できたか。 ○PTA活動を通して保護者、生徒の満足度が高まったか。				
5	○学校の取り組みや生徒の諸活動を保護者、地域に対して積極的に情報提供。 ○オープンスクール、学校説明会、個別相談会等の参加者増加へ向けた生徒募集行事の強化。 ○受験生・入学者の増加に向けた取り組み。 ○HPの質の向上と受験生・保護者が求める情報の発信。 ○LINEやInstagram等のSNSを有効利用した効果的な情報提供。	生徒募集・広報活動	○ポスター・パンフレットの作成。 ○年間2回「本庄第一通信」の発行。 ○年間1回の広報誌「みらチカ」の発行。 ○年間2回の小学校・中学校訪問や塾への訪問を実施。 ○塾の先生方対象入試説明会の実施。 ○オープンスクール、体験入部会、S類型説明会等の実施。 ○学校内外での本校独自の説明会の実施や平日の学校見学会希望者への案内を行い、実際の学校の様子や取り組みなど紹介する。 ○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加。 ○HPの質の向上を図るとともに適宜更新し、情報を発信する。 ○部活動などをはじめとした生徒の様子を様々なアプリなどを利用し、幅広く情報を発信する。 ○BLENDを利用したの情報配信を実施する。 ○塾主催説明会等の生徒募集行事を通じて個別相談会参加の増加を図り、さらに受験生・保護者が求める情報を提供できるよう努める。	○計画通りにポスター・パンフレットが作成できたか。 ○計画通りに「本庄第一通信」が発行できたか。 ○HPの質の向上が図れたか。 ○HPの情報が適宜更新され、それに伴い閲覧者が増えたか。 ○オープンスクール参加目標人数1000人を達成できたか。 ○学校説明会参加目標組数650組を達成できたか。 ○生徒募集イベントへの参加者が受験や入学につながったか。 ○BLENDを使用して受験生に情報配信できたか。 ○LINEやInstagram等のSNSを利用して部活動や生徒の様子を情報提供できたか。 ○生徒募集行事を通じて個別相談会の参加者を増加させ、受験生や保護者が求める情報を提供できたか。				